


2 一般的な学習指導過程

導 入	<p>※ 本時の主題に興味や関心を持たせたり、学習の動機付けを図る段階</p> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div data-bbox="252 448 821 757" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>導入の3つの役割</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 本時の主題にかかわる問題意識をもたせる。 2 資料の内容に興味や関心をもたせる。 3 学習への雰囲気作り。 </div> <div data-bbox="901 414 1391 880" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p style="text-align: center;">具体例</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生活体験を想起させ、発表 ・事前アンケートの結果の提示 ・資料に関する絵画や写真、VTR ・音楽を聴く ・ねらいにかかわる新聞記事、児童作文、詩や短歌 ・地域の人々の話 ・実験や観察など実物にふれる体験など </div> </div> <div style="margin-top: 20px;"> <div style="display: flex; align-items: center;">  <div style="border: 1px solid black; background-color: #f0e6ff; padding: 5px;"> <p>○ 短時間で効果的に行いましょう。</p> <p>○ 展開の部分とのつながりを考え、展開がより効果的になるような導入を工夫しましょう。</p> </div> </div> </div>
	展 開



Point

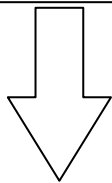
- 道徳の時間は、児童一人一人が道徳的価値の自覚及び自己の生き方についての考えを深め、道徳的実践力を主体的に身に付ける時間です。主人公の気持ちに共感させるだけでなく、児童が学習していることを自分とかわりのあることとしてとらえられるようにしましょう。
- 展開の後半で、自分のことについて振り返る時間をとることもあります。

展

◎ 発問の構成について（具体的事例→P12～）

発問は、ねらいを達成するために、全体を一体的に捉えられるようにして構成しましょう。

発問1（中心的な発問を生かす発問）



発問2（中心的な発問）



発問3（中心的な発問を生かす発問）

－ 発問を考える手順 －


- ① 中心的な発問を考える。
・授業のねらいに強くかわる発問（中心的な発問）を考えます。
- ② 中心的な発問を生かす前後の発問を考える。
- ③ 補助発問を考える。

開



Point

- 発問の数は、3つとはかぎりません。また、中心的な発問が常に2番目に位置付けられるともかぎりません。
- 児童が道徳的価値の自覚及び自己の生き方について考えられるようにするためには、どのような発問をどの段階であればよいのか、明確な指導観をもち、児童の実態に即して考え、発問を構成することが大切です。

終	<p>※ 自分の思いや考えをまとめたりして、今後の発展につなげる段階</p>
	<p>○ 学習を通して考えたことや新たに分かったことを確かめたり、学んだことを更に深く心に留めたり、これからへの思いや課題について考えたりする学習活動を行います。</p>
末	<p>具体例</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分の気持ちを書く ・感想発表 ・「私たちの道徳」の活用 ・説話、ことわざ、格言 (具体的事例→P 25)
	<div style="display: flex; align-items: center;">  <div style="border: 1px solid black; background-color: #f0e6ff; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> ○ 余韻や充実感を大切にしましょう。 ○ 懺悔や決意表明だけにならないようにしましょう。 </div> </div> <p>Point</p>

留 意 点

—道徳の時間のふり返し—

学ぶ主体の児童・生徒にとって、○○があった！

- 発見…わからないことがよくわかった。
- 進展…わかっていたことが、もっとよく分かった。
- 修正…今まで考えていたことが違うもの変わった。
- 明確…ぼんやり、あいまいだったものがはっきりとした。
- 確信…自分の考えにまちがいのないことがわかり、自信を持てた。
- 補足…自分の考えの足りない点が補えた。
- 覚醒…まどろんでいた自己が覚醒した。
- 志向…実際にやってみたいと思えた。
- 感動…こんな生き方もあるのかと心の底から思えた。 など